

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行番. NO. 2048	
日 時 2024年07月18日(水) 上部風・快晴	
山 域 飛騨・乗鞍岳(3026m)	
コース 観光センターバス 10:00-位ヶ原山荘発 10:48-肩の小屋下 12:07-肩の小屋 13:03-乗鞍岳 14:16~21-肩の小屋 15:16-畳平 15:56-けやき山荘(泊)	
標高差 上り 位ヶ原山荘約2350m~乗鞍岳3026m=約676m 下り 乗鞍岳3026m~畳平約2750m=約272m	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
快晴の山、花は素晴らしかった	
ど〜が〜 https://susono-reihou.babyblue.jp/00-54mp4.mp4	
参加者 後藤、伊藤、斎藤=3名	

梅雨の晴れ間、久しぶりに飛騨・乗鞍岳に向かった。中央道の道路工事などで、観光会館着9:50。十時発バスにギリギリセーフだった。

バスは満杯。土手に「ヤナギラン」があった。乗客は、殆ど畳平まで乗る。我々は、それでは面白くないので、位ヶ原山荘で降りた。下車は3名のみ。ただ、畳平に比べると相当距離は短い、往復料金4000円は割引なし。不公平じゃない??(笑い)



位ヶ原山荘



登山道整備ボラ

天気は良かった。爽やかな風。トイレを済ませて出発。車道から登山道に入る。位ヶ原から夏道は初めてだった。今年5月、ここでN労山のEさんが滑落して重傷を負った。一体、どうしたのだろうか??

花は良かった。チングルマとイワカガミのグラデーションが見事だった。穂高連峰・槍が見えた。5~6名の団体さんが登山道整備をしていた。上から何人か下って来た。上の方は居ないが、下りは多かった。

スキー時、見覚えのある沢を上って行く。ここも花が良かった。歩いてよかった。



下部の沢

遙か頭上、左手に乗鞍岳が見えた。沢を上り切り、肩の小屋下に達した。何人か雪渓でスキー。今年は雪が少なく、5~6回のターンでお終い。

肩の小屋広場に中学生が大勢休んでいた。上からもゾロゾロ降りて来る。ペチャペチャ・グジャグジャ・ゲラゲラ、それは賑やかだった。イイお年頃。

山頂に向かう。寝不足で体が重い。夏は、ガラガラ道で歩き難い。狭い道で下山の中学生と行き交うのが大変だった。

帰静後、判明したことだが、ここで会のK・H・U・Oの4名と行き交ったらしい。上りは、下を向いているので、全く分からなかったが、記録の時間で推定出来た。登山届があれば、もっと注意したが、無届なので分からなかった。「県連理事・全国役員」が、無届登山では、示しがない。

そういえば、今朝、バスで一緒だった方が、豊平から上り、もう下って来て「速いですね」と、Iにお声がけがあったようだ。よく覚えていてくれた。

天候は相変わらず安定していた。朝日岳のコルから風が強かった。むしろ涼しくて有難い。時折、ジェット戦闘機が旋回していた。小松基地の戦闘機だろうか??眼下に権現池が俯瞰できたが、既に「ドラゴン・アイ」は、消滅していた。

山頂小屋に着いた。夏はあまり上らないので、この小屋は記憶が薄かった。すぐ上が山頂だった。ツアー団体がゾロゾロ来て混雑。ユックリ出来ない。しかも、一方通行を無視して上って来るので、下るに閉口。ツアー・リーダーは、一体何をしてる??



2024/07



ドラゴン・アイ（ネット転載） 2023/05/09

山頂の祠では、宮司が頑張っていた。以前聞いた話では、毎日、上って来るとのことだったが、下の小屋に泊っているのだろうか？

下山する。肩の小屋で食事。台湾パーティーに写真を撮って貰った。感じの良い方々だった。豊平に向かう。富士見岳を越えると、コマクサ・イワツメクサが沢山咲いていた。台湾の方に花名教えたが、伝わったかな？

豊平からバスで下る。今日は、乗鞍高原の「けやき山荘」泊。素泊まりなので、途中のレストランで夕食。カツカレーは、案外、美味しかった。

「けやき山荘」は、昔、東プロのスキーツアーで度々、泊った所。懐かしかった。しかし、宿主は、あまり記憶していなかった。交替したのだろうか？

温泉は素晴らしい。庭に咲く「ヤナギラン」を愛でつつ、白濁温泉に beer を持ち込み楽しんだ。誰も居ない。静かな時間。上空はちぎれ雲。高原は、既に秋を感じさせた。



肩の小屋



ヤナギラン



朝日岳



下山